

小学生高学年向けロボットプログラミング教室開催について

地域貢献活動の一環として、地元江東区の小学生向けに ロボットプログラミング教室「子どもゆめ基金助成活動 身近な科学実験教室 –モノの流れとロボットの関わり–」を開催いたしました。

1. ロボットプログラミング教室開催の経緯

家電製品や自動車などにも内蔵され生活の様々な場面でなくてはならない存在となっている「コンピューター」を理解し効果的に活用することや、論理的思考力を高めることを狙いとして、小学校においても「プログラミング教育」が導入されています。

地元江東区の小学生の皆さんに「プログラミング」をより身近に感じ、楽しさを体験してもらいたいとの願いから、神奈川工科大学電子ロボ実行委員会のご協力の下、当社の物流搬送システムのノウハウを活かし、「モノの流れ」をテーマとした小学生向けロボットプログラミング教室「子どもゆめ基金助成活動 身近な科学実験教室 –モノの流れとロボットの関わり–」を企画、開催いたしました。

本教室の開催に当たり、独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金のご支援、江東区教育委員会のご後援をいただきました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2. 開催概要

(1)開催日・場所：2021年12月18日(土)、トーヨーカネツ本社

(2)参加者：江東区近隣小学生4～6年生 10名

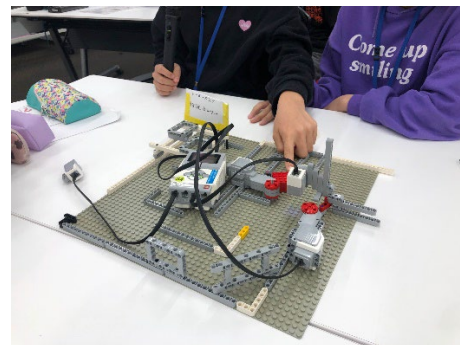
(3)教室の概要

① 流通とロボットの関わり

・当社より、「モノが作られてから、使う人に届くまで」のプロセス（流通）、その中でのロボットやロボットを動かすための「プログラミング」の役割について、講義を行いました。

② ブロック教材を活用した「仕分け装置」の制作

・神奈川工科大学電子ロボ実行委員会の指導により、ブロック教材とコンピューターを活用し、物流センターに配置される「仕分け装置」の制作を行いました。



参加者からは、「友達と協力してロボットを作るのが楽しかった」、「完成した時はとても嬉しかった」、「次はもっといいものを作りたい」といった感想が寄せられました。

当社は、これからも地域の皆様との交流を深め、お役に立つ活動を継続して参ります。